

令和7年度北九州市立北方小学校学校経営方針(全体構想)

学校教育目標

- 児童の実態
→本校の教育課題
- 保護者・地域の願い
- 時代や社会の要請

新しい時代を拓く 心豊かで たくましい 子どもの育成

<国・市の動向>

- ・学習指導要領
- ・「北九州市子どもまんなか教育プラン」

教育スローガン

「できることから一つずつ、仲間とともに挑戦！成長！」

めざす学校像

- 信頼のおける学校
- ・信頼できる教育活動、授業、教職員、組織体制
- (きれいな学校、たのしい学校
がんばる学校、たすけあう学校)

めざす子ども像

- 北方っ子の「あ・い・う・え・お」
- あいさつができる子ども
- いのちを大切にできる子ども
- うんどう、健康、元気な子ども
- えがおで過ごす子ども
- おもいやりのある子ども

めざす教職員像

- 日々の授業を大切にする教職員
- 愛情と情熱にあふれる教職員
- 人権感覚や豊かな感性を備えた教職員
- 保護者から信頼され、子どもから尊敬される教職員
- 協働精神で自分のよさを伸ばす教職員

- 子ども相互、子どもと教職員、教職員相互、学校と家庭、学校と地域が信頼し合える学校にする。

- きれいな学校
- ・安全への配慮がなされ、清潔で美しい環境の整った学校
- 掃除の徹底、環境整備の充実

- たのしい学校
- ・「できる」「分かる」と感じる学校
- ぐんぐんタイムの取組、
わかる授業の実践

- がんばる学校
- ・子ども(教職員が支援しながら)が何事にも全力で取り組む学校
- ・失敗を恐れず、何事にも挑戦
- 委員会・行事等の活性化

- たすけあう学校
- ・保護者や地域と連携する学校
- 放課後、地域と連携した安全指導
地域行事への参加

子どもが「学びたい！」
保護者や地域が「行かせたい！」
教職員が「働きたい！」
と思う学校に。

- 進んであいさつをする
- ・校内、校外で、自分から進んで自主的にあいさつする。
- ※相手の目を見て、相手に聞こえる大きさで

- 「おはようございます」
「こんにちは」「さようなら」

- 命を大切にする
- ・「自分の命は、自分で守る」を基本に防災・減災教育を実施する

- 進んで外遊びや運動をする
- 笑顔にする言葉かけができる
- ・「はい」という素直な心
- ・「ごめんなさい」という反省の心
- ・「ありがとう」という感謝の心
- ふわふわ言葉を使う

- 相手の立場に立って考える
- ・気持ちや考えを、相手に分かりやすく伝えたり受け入れたりして、学習や生活の中で高め合い
支持的風土の醸成を図る
- ※北方ニコニコ目標の活用

一時間一時間の授業の中に 教育のすべてがある

- 子ども一人ひとりと向き合う
- 「適切な目標を設定する」
「結果とともに過程を大切にする」等
- ・子どもの思いを大切にする

- ・自信をつけさせる
- ・意欲を引き出す

- 子どもを伸ばす叱り方をする
- 毅然として是々非々の対応をとる
- ・行為を叱る

- ・過去や他の人を比較に出さない
- ・先生のメッセージや思いを入れる

- 「特別なニーズ」をもつ子どもを学級から排除するのではなく、多様なニーズをもつ子どもを包摂していく

- 「個別最適な学び」「協働的な学び」
に実現に向けたスキルアップ

- チーム北方の一員として、自分のできることを考え、動くことができる

- 担任は抱え込まない、担任外は担任に任せきりにしない、お互いに協力、支えあい、全教職員で子供を育てる

「チーム北方」の信頼と結束

- ① お互いを思いやり、明るく元気な職場にする。心をつなげて、よりよい仕事をしよう。ワークライフバランスの充実を図っていこう。
- ② 一人にしない。一人で抱え込ませない。全教職員で子どもを育てる。

- 危機管理体制・対応の徹底。
- ・「ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)」
- ・記憶より記録(記録は自分を助ける)
- ・首より上の怪我は病院へ
- ・いじめアンケート、教育相談の実施

- 教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。不祥事撲滅
- 心と体の声を聴き、健康管理に努める。定時退校日。
- ワークライフバランスの推進に向けた業務改善。

